

平成26年度

埋蔵文化財調査士補

資格試験 筆記問題答案用紙 (I 択一式)

受験番号	氏名	I	II	III
B-				

試験日：平成26年8月23日(土)

東京会場：東京御茶ノ水「連合会館」

大阪会場：大阪「大阪ガーデンパレス」

公益社団法人
 日本文化財保護協会

【 I 】 次の設問に対し、A～Dのうち一つだけ記号を選択して解答欄に記入しなさい。

問 1 埋蔵文化財調査士・調査士補の資格制度で、間違っているものはどれか。

- A. 同じ資格を持つ者は発掘調査の知識や技術が同水準と言える。
- B. 調査士は発掘調査において報告書作成まで一貫してできる者。
- C. 調査士補は発掘調査現場を統括し、発掘調査を適切に行える者。
- D. 調査士と調査士補は発掘経験年数の違いである。

問 1	D
-----	---

問 2 発掘調査にあたり、埋蔵文化財調査士・調査士補はどのような心構えが必要か。正しいものを選び。

- A. 遺跡のデータを精密に把握するために、時間や経費は度外視することもある。
- B. 発掘調査の方法や手法は、調査士や調査士補の判断のみで行える。
- C. 遺跡における発掘調査は唯一 1 回だけのものであるから、最大限の注意を払い、得られる情報を漏れなく記録することに努めなければならない。
- D. 文化財の保護を行うのであるから、周囲の危険や迷惑はあまり気にしなくて良い。

問 2	C
-----	---

問 3 発掘調査の着手について、その方法で正しいものを選び。

- A. 調査士補は発掘調査を一貫して行える資格なので、何の手続きも行わずに発掘できる。
- B. 調査士補はあらかじめ調査士に調査方法を示せば、それ以降の指示に従う必要はない。
- C. 文化財保護法に基づく法的な手続きや、土地に係る法律や届け出を怠りなく、期限内に提出する。
- D. 委託者の属する都道府県や市町村教育委員会が作成した発掘マニュアルに基づけば、文化庁の示した発掘調査の手引きは参考にしなくてもよい。

問 3	C
-----	---

問 4 労働安全衛生法に関する記述のうち誤りはどれか。

- A. 労働安全衛生法は、職場における労働者の安全と健康を確保することを目的に掲げている。
- B. 労働安全衛生法には罰則規定が設けられている。
- C. 労働安全衛生法は、労働者の遵守事項に関する規定も定めている。
- D. 労働者の労働時間は労働者の安全と健康の確保と密接な関係があるので、労働安全衛生法には法定労働時間等の労働時間に関する規定が定められている。

問 4	D
-----	---

問 5 安全管理者及び衛生管理者に関し労働安全衛生法令上正しいのはどれか。

- A. 常時 30 人以上の労働者を使用して発掘の業務を行う事業場は、安全管理者を選任しなければならない。
- B. 常時 60 人以上の労働者を使用して発掘の業務を行う事業場は、衛生管理者の選任は必要ない。
- C. 常時 50 人の労働者を使用して発掘の業務を行う事業場は、産業医を選任しなければならない。
- D. 常時 5 人の労働者を使用して発掘の業務を行う事業場は、安全衛生推進者を選任しなければならない。

問 5	C
-----	---

問 6 安全衛生教育に関し労働安全衛生法令上正しいのはどれか。

- A. 雇入れ時の安全衛生教育は、10 日間だけ臨時に使用する労働者に対しては行わなくてもよい。
- B. 雇入れ時の安全衛生教育は、実施する項目が定められている。
- C. 雇入れ時の安全衛生教育は、教育時間が定められている。
- D. 請負事業者の労働者に対する雇入れ時の安全衛生教育は、その労働者が親企業（元方事業者）の構内で労働する場合は親企業の責任で実施しなければならない。

問 6	B
-----	---

問 7 開発に伴う発掘調査等の費用負担で、都道府県や市町村行政が毎年文化庁の補助金を得て行っている事業は何か。

- A. 開発に伴う埋蔵文化財の本発掘調査 B. 本発掘調査後の出土品整理・報告書作成
C. 発掘調査研究発表会の開催 D. 開発に先立つ埋蔵文化財の分布・確認調査

問 7	D
-----	---

問 8 受託した本発掘調査を適切に実施するために、主として指導を仰ぐものは誰か。

- A. 開発を行う事業者
B. 当該都道府県・市町村の文化財担当者
C. 会社の上司
D. 都道府県や市町村の文化財審議会委員

問 8	B
-----	---

問 9 本発掘調査を実施していく途中で、工程に遅れる予想が生じた場合、調査担当者の取るべき道は次のうちどれか。

- A. 原因を調査士や行政担当者とともに分析し、調査会議で協議して方針を決める。
B. 天候や作業状況など、現場の進行状況に応じて調査を進め、最後に調整する。
C. 自己判断で重機、作業員を増員し、作業の効率化を図る。
D. 仕様書や調査マニュアルを変更してスピード化を図る。

問 9	A
-----	---

問 10 文化財保護法第 92 条の届出(調査のための発掘に関する届出)は、調査着手の何日前までに届け出る義務があるか。

- A. 30 日前 B. 60 日前
C. 調査前日まで D. 調査期間中の届け出でよい

問 10	A
------	---

問 11 発掘調査終了後出土した文化財について、遺失物法第 1 条第 1 項の規定により所轄警察署に提出する遺物の発見届は、発掘調査終了後何日以内に届け出なければならないか。

- A. 7 日以内 B. 10 日以内
C. 30 日以内 D. 60 日以内

問 11	A
------	---

問 12 分布調査が必要と考えられる理由のうち誤りはどれか。

- A. 遺跡の現状把握
B. 同一時期の遺跡の分布
C. 土地の税に対する調査
D. 開発事業予定地への開発側の問い合わせに対する迅速な回答

問 12	C
------	---

問 13 遺跡として認定する要件のうち誤りはどれか。

- A. ある一定の土地に遺物が散布している。
B. 過去の発掘調査で遺物・遺構が検出されている。
C. レーダー探査・磁気探査等で遺構の存在が確認されている。
D. 表面採集で遺物は採集できなかったが、過去拾われたことがあると聞いている。

問 13	D
------	---

問 1 4 遺跡として認定するための作業のうち正しくないのはどれか。

- A. 地図は全体がわかる 1/50,000 が最も適している。
- B. 遺跡名は字名や番号順など、原則に則って命名する。
- C. 地図は都市計画地図等、なるべく大縮尺のものを使うのが望ましい。
- D. 採集した遺物の時期決定を行う。

問 14	A
------	---

問 1 5 分布調査は法律上ではどのように扱われているか正しいものを選び。

- A. 文化財保護法でなく、文化庁次長通知の規定で運用している。
- B. 文化財保護法に分布調査の実施について一切規定がない。
- C. 文化財保護法で、地方公共団体は埋蔵文化財包蔵地の分布調査を行うよう厳しく規定されている。
- D. 文化財保護法で遺跡の周知について必要な措置を行うよう規定され、分布調査もその範疇に入るものと解釈されている。

問 15	D
------	---

問 1 6 遺跡情報システムの今後の問題点を述べたうち正しいものはどれか。

- A. 遺跡情報システムは遺跡を扱うものであるから文化財サイトで運営すれば良い。
- B. 遺跡が表示されていれば発掘調査を行った地点の表示は必要ない。
- C. 遺跡地図の改訂時期と定期的なシステムのメンテナンスが必要。
- D. 消滅した遺跡は遺跡でなくなったので表示する必要はない。

問 16	C
------	---

問 1 7 昭和 24 年の岩宿遺跡の発掘に続いて旧石器時代遺跡が発掘されたのはどこか。

- A. 長野県茶臼山
- B. 東京都茂呂
- C. 長野県上ノ平
- D. 北海道樽岸

問 17	B
------	---

問 1 8 大森貝塚に続いて日本人が発掘した貝塚はどこか。

- A. 西ヶ原貝塚
- B. 椎塚貝塚
- C. 陸平貝塚
- D. 阿玉台貝塚

問 18	C
------	---

問 1 9 日本で最初に竪穴住居跡が発掘された遺跡はどこか。

- A. 姥山貝塚
- B. 加曾利貝塚
- C. 高ヶ坂遺跡
- D. 尖石遺跡

問 19	A
------	---

問 2 0 山内清男が縄文土器の全国編年表を最初に示した論文はどれか。

- A. 斜行縄文に関する二、三の観察 (S5)
- B. 関東に於ける繊維土器 (S4)
- C. 日本遠古之文化 (S7)
- D. 縄文土器型式の細別と大別 (S12)

問 20	D
------	---

問 2 1 大正時代の考古学研究成果としてあげられるものはどれか。

- A. 遺跡の層位学的研究
- B. 日本人種論
- C. 弥生時代集落跡の研究
- D. 縄文土器・弥生土器の編年研究

問 21	A
------	---

問 2 2 弥生土器編年の基準となった遺跡はどこか

- A. 国府遺跡 B. 唐古・鍵遺跡 C. 向ヶ岡貝塚 D. 登呂遺跡

問 22	B
------	---

問 2 3 弥生土器の編年大綱を作ったのは誰か

- A. 浜田耕作 B. 鳥居龍蔵 C. 森本六爾 D. 小林行雄

問 23	D
------	---

問 2 4 次の弥生時代の遺跡の説明で、間違っているものはどれか。

- A. 青森県垂柳遺跡からは、弥生時代中期の水田跡が発見された。
B. 静岡県登呂遺跡は、戦後間もなく集落と水田跡が発見され、教科書に長く載った。
C. 奈良県唐古・鍵遺跡は大規模な集落で、巨大建物や楼閣の遺構が発見された。
D. 佐賀県吉野ヶ里遺跡は大規模な集落や祭壇・倉庫・環濠・墓を持つ政治的軍事的な遺跡である。

問 24	C
------	---

問 2 5 次の青銅器の説明で正しいものはどれか。

- A. 東日本には銅鐸が、西日本には銅剣が分布する。
B. 銅鐸は主として静岡県・長野県より以西に分布している。
C. 銅鐸の最も多く出土している県は奈良県である。
D. 吉野ヶ里遺跡からは銅鐸は出土していない。

問 25	B
------	---

問 2 6 奈良県箸墓古墳を定型化古墳として積極的に評価した研究者は誰か。

- A. 石野博信 B. 都出比呂志 C. 寺沢 薫 D. 小林行雄

問 26	B
------	---

問 2 7 1950 年代初めに行われた市民参加の発掘として名高い古墳は次のうちどれか。

- A. 造山古墳 B. 楯築古墳 C. 月の輪古墳 D. ミサンザイ古墳

問 27	C
------	---

問 2 8 古墳について正しいものを選び。

- A. 弥生時代の方形周溝墓や土坑墓が次第に大きくなったものを古墳という。
B. 大仙古墳は大王の権威を示すために、山を削って巨大な前方後円墳を造った。
C. 横穴式石室は、主に 5 世紀後半に朝鮮半島から築造技術がもたらされた。
D. 全国の積石塚古墳は、中国や朝鮮半島からきた渡来人の墓として造られた。

問 28	C
------	---

問 2 9 群馬県三ツ寺遺跡について正しいものはどれか。

- A. 三ツ寺遺跡は東北新幹線工事に伴い発掘された遺跡である。
B. 三ツ寺遺跡は榛名山ニツ岳火山灰（Hr—FP）の降下で埋没した 6 世紀中頃のムラである。
C. 三ツ寺遺跡から発見された平地式住居は東国の古墳時代の住居を考える重要な遺構である。
D. 三ツ寺遺跡は古墳時代の豪族居館として注目された遺跡である。

問 29	D
------	---

問 3 0 古代寺院跡の調査で間違っているものはどれか。

- A. 飛鳥寺の調査では一塔三金堂という独特の伽藍配置が判明した。
- B. 下野国分寺の調査では伽藍配置は判明したが、寺地の範囲は不明である。
- C. 法隆寺再建論争では焼失した若草伽藍が発見され、一応の決着をみた。
- D. 山田寺の調査で発見された回廊蓮子窓は、現存する最古級の木造建築である。

問 30	B
------	---

問 3 1 駅路の整備について間違っているものはどれか。

- A. 駅路の整備は律令国家の積極的な支援で実施された。
- B. 駅路の整備は郡家や国府の造営と並行して実施された。
- C. 駅路の整備は中央集権的な律令国家の政治的意向が重視された。
- D. 駅路の整備は地域の経済的利便性が重視され、経済発展の基礎となった。

問 31	D
------	---

問 3 2 古代天皇について正しいのは次のうち誰か。

- A. 推古天皇は女性天皇で、聖徳太子に皇位を譲った。
- B. 平城天皇は平城京を造った。
- C. 文武・持統天皇陵は前方後方墳である。
- D. 諸国に国分寺建立の詔勅を発布したのは聖武天皇である。

問 32	D
------	---

問 3 3 門の名称で正しいものは次のうちどれか。

- A. 陽明門は日光東照宮にある門で、平安宮にはない。
- B. 東大寺や法隆寺等の南大門は、単層の 3 間×1 間の門である。
- C. 羅城門は平城京や平安京の東の門を言う。
- D. 平城宮の南門の名称は朱雀門という。

問 33	D
------	---

問 3 4 戦後発掘調査された遺跡で、調査の古い順に並ぶものを示せ。

- A. 岩宿遺跡—登呂遺跡—三内丸山遺跡—吉野ヶ里遺跡
- B. 登呂遺跡—平城京—高松塚古墳—尖石遺跡
- C. 尖石遺跡—吉野ヶ里遺跡—三内丸山遺跡—高松塚古墳
- D. 登呂遺跡—岩宿遺跡—高松塚古墳—吉野ヶ里遺跡

問 34	D
------	---

問 3 5 日本の埋蔵文化財調査を指導してきた奈良文化財研究所に関して間違っているものはどれか。

- A. 奈良文化財研究所は 1952 年に平城京が特別史跡の指定に伴い設置された。
- B. 奈良文化財研究所は 1960 年に平城京発掘調査部を設置し、平城京の本格的な調査を開始する。
- C. 奈良文化財研究所は平城京ばかりか藤原京の調査を実施し、都城研究に大きな役割を果たした。
- D. 奈良文化財研究所は都城ばかりか東北地方の城柵跡の調査を実施し、大きな役割を果たした。

問 35	D
------	---

問 3 6 遺跡の発掘現場で使用する機材とその使用目的が正しいものの組み合わせを選べ。

- A. トランシット：掘立柱建物の柱間の水平距離を、プリズムミラーを使って計測した。
- B. 平板：古墳の地形図を等高線で描いた。
- C. レベル：遺物の取り上げで、データコレクタをつないで出土地点の座標を計測した。
- D. トータルステーション：スタッフを使用して、水準点から標高を移動し、調査区内にベンチマークを設定した。

問 36	B
------	---

問 3 7 次の中から正しいものを選べ。

- A. U.T.M. とは、メルカトル図法のことである。
- B. U.T.M. の座標表示は (X Y) で表される。
- C. 平面直角座標系の座標表示は緯度経度で表される。
- D. 平面直角座標系の座標表示は (X Y) で表される。

問 37	D
------	---

問 3 8 旧石器時代の遺物出土集中地点で石器のツールやフレイクやチップが大量に出土している。遺物分布図を作成する目的で、トータルステーションとプリズムミラーを使って遺物の出土位置を記録しようとしている。トータルステーションからちょうど 50m の距離にミラーの付いたピンポールを立てた。機械に表示される水平角の角度が 1 度違うと、実際の距離ではどれだけずれることになるか、下記のなかから最も近いものを選べ。

- A. 約 0.87mm
- B. 約 8.7mm
- C. 約 87mm
- D. 約 870mm

問 38	D
------	---

問 3 9 次の中から正しいものを選べ。

- A. 山梨県甲府城の石垣 1/50 立面図は、城全体 1/500 実測図より縮尺が小さい。
- B. 愛知県瀬戸古窯跡群で出土した灰釉陶器皿 1/1 実測図は、連房式登窯 1/40 実測図より縮尺が小さい。
- C. 佐賀県吉野ヶ里遺跡で出土した甕棺 1/10 出土状況図は、銅剣 1/2 実測図より縮尺が大きい。
- D. 青森県三内丸山遺跡で出土した円筒上層式土器 1/1 実測図は、出土した大型住居跡 1/20 実測図より縮尺が大きい。

問 39	D
------	---

問 4 0 考古学に関連する事項で、①～⑤が年代順(旧>新)に正しいものを選べ。

- ①遺跡調査に写真測量が導入される。
 - ②遺跡調査でトータルステーションが普及する。
 - ③遺跡調査に平板測量が導入される。
 - ④遺跡調査でオフセット測量や遣り方測量が行われる。
 - ⑤遺跡調査で 3 次元レーザ計測が行われるようになる。
- A. ③>①>④>②>⑤
 - B. ③>①>②>④>⑤
 - C. ③>④>①>②>⑤
 - D. ③>④>②>①>⑤

問 40	C
------	---

問 4 1 遺跡調査の図面作成で下記のような方法で図化を行いました。対象物の規模や状況を考えて、もっともふさわしいものを選べ。

- A. 器高 30cm ほどの縄文土器について、トータルステーションを使って図化し、1/1 の実測図を作成した。
- B. 住居跡の実測図(縮尺 1/20)を、三角定規・デバイダ・コンパス・マコ・キャリパーなどを使って図化した。
- C. 径 30m の周溝をもつ円墳について実測図(1/100)を作成するため、3 次元レーザ計測を行った。
- D. 2m×3m ほどの江戸時代の地下室について、平板測量で 1/20 の平面図を作成した。

問 41	C
------	---

問 4 2 U 字谷は、貝塚(1988)による地形分類ではどれに相当するか。

- A. 大地形 B. 中地形 C. 小地形 D. 微地形

問 42	B
------	---

問 4 3 次のうち、正しい説明はどれか。

- A. 日本の地形を系統的に網羅した書籍はまだない。
B. 地割れは地形分類には入らない。
C. 地質図も地形の確認に使えることがある。
D. 国土地理院発行の地形図には 1/1 万スケールのものはない。

問 43	C
------	---

問 4 4 発掘調査における「分層」に関する説明で正しいものはどれか。

- A. 分層は基本的には層理に従うことが適当である。
B. 堆積物と土壌とは、単に学問分野に起因する名称の違いである。
C. 土壌層位の層界を層理と呼ぶ。
D. 泥炭層は鍵層にはならない。

問 44	A
------	---

問 4 5 次のうち、火山灰の分析には一般には用いられないものはどれか。

- A. 鉱物分析 B. 屈折率測定 C. 花粉分析 D. 蛍光 X 線分析

問 45	C
------	---

問 4 6 遺構の調査に自然科学分析を適用することについて正しい記述はどれか。

- A. 自然科学分析を適用する遺構については発掘調査による所見は必要ない。
B. 自然科学分析結果によって遺構の性格を決定する。
C. 分析の対象は遺構覆土のみである。
D. 分析の対象は遺構との関係が明瞭なものを選択する。

問 46	D
------	---

問 4 7 遺物の自然科学分析について正しい記述はどれか。

- A. 土器の分析目的は産地推定に限られる。
B. 分析方法の選択の際には遺物の種類と目的のみを考慮すればよい。
C. 石器も土器も適用される分析方法はほぼ共通する。
D. 付着物が漆と考えられる場合には X 線回折分析を用いる。

問 47	C
------	---

問 4 8 陶磁器には、土器、炝器、陶器、磁器がある。これらのうち土器が最も塩類風化による被害を受けやすい。その理由について正しい説明を選べ。

- A. 土器は、ガラスのように硬く緻密に焼きあがっているため吸水性がなく、塩類風化が起きやすい。
B. 土器は、柔らかく、多孔質に焼きあがっているため吸水性が高く、水と一緒に塩類が浸透するため塩類風化が起きやすい。
C. 土器は、釉薬がかかり、柔らかく吸水性があるため塩類風化が起きやすい。
D. 土器は、硬質で緻密であるが、吸水性が少しあるため塩類風化が起きやすい。

問 48	B
------	---

問 49 低湿地遺跡から木材が出土した。どのような方法で一時保管するか。正しい説明を選べ。

- A. 何もしないで室内で乾燥させる。
- B. 濡れた綿で包み、ポリエチレンの袋に入れて室内で保管する。
- C. 乾燥を防止するために水温 8℃前後の水の中に入れ、光を遮断した場所で保管する。
- D. 紙などに包んで冷蔵庫に保管する。

問 49	C
------	---

問 50 出土直後の金属製品を保存するために必要な資材の組み合わせを選べ。

- A. 中性紙、ポリエチレン袋
- B. 乾燥剤、脱酸素剤、ポリエステル綿、密封容器
- C. 脱脂綿、密封容器
- D. 中性紙、脱脂綿、密封容器

問 50	B
------	---